

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 ふるさと

社会福祉法人ふるさと 平成29年度事業報告「法人本部」

1. 総 括

平成29年4月より全面施行された改正社会福祉法に則り、業務の執行機関となった理事会（監事含む）並びに法人の議決機関として理事会による業務執行状況を監督する立場にある評議員会が新たに誕生し、社会福祉法人制度改革の新たなページが開かれた。実務面でも、インターネットの情報開示システムを用いての現況報告や社会福祉充実残額の算定等新たに義務化された届出や、監事監査を経て理事会、評議員会の開催に至るまでこれまでになかった細かなルールが設けられるなど、例年との違いに戸惑いながら進めることとなった。これら一連の流れは、言わずもがなガバナンスの強化、透明性の向上、財務規律の強化等、組織運営に係る変革であり、社会福祉法人としての経営の主体性、自律性をより一層高めるためのものである。少子高齢化に伴う人口減少社会というこれまで遭遇したことのない社会構造に対し、国が進めようとしている地域共生社会の実現に向けて社会福祉法人がその推進役となるための最低限の準備が整ったと言える。

法人としての最重要課題である介護人材の確保については、引き続き厳しい雇用情勢にある中、職員の士気向上につながる対策として処遇改善の充実と人材育成に力を入れた。まず、処遇改善については、平成29年度より拡充された介護職員処遇改善加算による増額分を原資として、一般職よりも精神的肉体的負担が大きい役職者に対するキャリアパス手当を創設し、職責に応じ報酬にメリハリをつけた。また、これまで処遇改善手当の対象となっていなかった短時間パートの職員にも新たに手当を設けた。

また、平成27年度より導入した業務改善活動による業務効率化の推進と人材育成も前年度に引き続き力を入れた。専門の外部講師に委託した質の高い研修プログラムを実施することで、組織力の強化とともに個人の能力開発を目的とした。3年目を迎えた本年度は、完全浸透とは言えないまでも、各職域に様々な工夫と協働の仕組みが生まれており、人出不足感がある中でもお互いが協力し合い業務を遂行する姿勢が芽生え始めたと見ている。今後も低調な雇用情勢が続くことが考えられることから、業務効率の向上と組織の中核を担う人材育成は欠かせない経営施策として注力していきたい。

事業所ごとの運営状況を以下に総括する。

- (1) 特別養護老人ホームふるさと
延べ満床数 25,550 人に対し、入所者数 25,384 人（契約率 99.4%）
延べ入院者数及び外泊者数 1,029 人（1 日平均 2.8 人）で前年（634 人）と比べると入院率が 60%超上昇しており、医療度の進展の影響がみられる。
— 入退所状況：入所／29 人、退所／29 人（うち施設内看取り 13 人）
平均介護度 3.9（前年 3.8）
- (2) 短期入所生活介護（ショートステイふるさと）
延べ利用枠 3,650 人に対し、利用者数は 2,885 人であった。（稼働率 79%）
前年比 99.7%と人数にして 50 人の減となったが、年度前半の利用調整の不調が要因と考えられる。（稼働率／上期；71.9%・下期：86.2%）後半には関係機関との利用調整の効率を図り、ホームページで空室状況の案内を掲示するなどして利用率向上を図った。
— 平均介護度 2.9（前年 2.8）
- (3) 居宅介護支援センターふるさと
居宅介護支援延べ利用者数 331 人（前年比 114.7%）、予防介護支援延べ利用者数 29 人（前年比 59.3%）であった。予防介護支援前年比の落ち込みは、予防介護支援事業の主体が地域包括センターへ移行したことが要因である。また、地域における公益的取組みである「ふるさとレスキュー事業」との連携や地域における介護予防の啓発活動に努めた。
- (4) グループホームふるさと
延べ満床数 6,570 人に対し、利用者数 6,498 人（契約率 98.9%）
延べ入院者数及び外泊者数 99 人（1 日平均 0.3 人）で前年（246 人）と比べると入院率が大幅に低下し、実質稼働も前年比 2.4%増の 97.4%となったが、平均介護度の低下で減収となっている。
— 入退所状況：入所／8 人、退所／7 人
平均介護度 1.7（前年 2.1）
- (5) 第 2 グループホームふるさと
延べ満床数 6,570 人に対し、利用者数 6,503 人（契約率 99%）
延べ入院者数及び外泊者数 259 人（1 日平均 0.7 人）で前年（251 人）と比べほぼ同水準で推移、実質稼働率は前年比 0.4%増の 95%であった。
— 入退所状況：入所／4 人、退所／4 人
平均介護度 2.1（前年 2.3）

- (6) ふるさとシニアライフサポートセンター（小規模多機能ホームふるさと・サービス付きシニアマンションふるさと）

小多機延べ登録定員 264 人に対し、登録者数 242 人（契約率 91.7%）、マンション延べ入居者数 224 人（稼働率 93%）であった。小多機が前年比 97.6%（前年 248 人）、マンションが前年比 98.2%（前年 228 人）の稼働率となり、前年と比して微減となった。

ー 利用者異動状況：小多機登録／6 人、解除／8 人

マンション入居／6 人、退居／8 人

平均介護度 1.2

- (7) ふるさとレスキュー事業

第二種社会福祉事業「生計困難者に対する相談支援事業」

県経営協の西彼・西海ブロック幹事法人として、またコミュニティ・ソーシャル・ワーカー（以下、CSW）設置法人として、相談受付 25 件、うち自法人対応が 11 件（うち相談支援に至ったもの 1 件）、他法人への連携 14 件であった。特に長与・時津地区からの相談が多かった。

2. 会務報告

(1) 理事会

回	日時	出席者	議題	場所
1	H29.4.5 10:00～	理事：6 名	（決議事項） ①理事長選出の件	特養ふるさと 施設長室
2	H29.6.2 10:00～	理事：6 名 監事：1 名	（決議事項） ①平成 28 年度事業報告の承認の件 ②平成 28 年度決算報告の承認の件 ③監査報告の件 ④定時評議員会に提出する役員等候補者名簿の件 ⑤定時評議員会に提出する役員等報酬基準規程の件 ⑥定時評議員会の招集の件 ⑦定款細則の改正の件 ⑧借入金一本化に係る融資申し込みの件 ⑨就業規則の改正の件	村田経理事務所 会議室

3	H29.6.24 18:00～	理事：6名 監事：1名	(決議事項) ①理事長選出の件 ②平成29年度第1次補正予算(案)の件	ホテルオークラ ハウステンボス
4	H29.8.7 10:00～	理事：5名 監事：2名	(決議事項) ①公用車使用及び管理規程の制定の件 ②経理規程の改正の件	村田経理事務所 会議室
5	H29.11.27 10:00～	理事：6名 監事：2名	(決議事項) ①平成29年度第2次補正予算(案)の件 ②職員就業規則改定の件	村田経理事務所 会議室
6	H30.3.20	理事：6名 監事：2名	(報告事項) ①理事長の職務執行状況の件 (決議事項) ①平成29年度第3次補正予算(案)の件 ②平成30年度事業計画(案)の件 ③平成30年度事業予算(案)の件 ④就業規則変更(案)の件	村田経理事務所 会議室

(2) 評議員会

回	日時	出席者	議題	場所
1	H29.6.24 16:00～	評議員：6名 理事：6名 監事：1名	(決議事項) ①平成28年度事業報告の承認の件 ②平成28年度決算報告の承認の件 ③監査報告の件 ④定時評議員会に提出する役員等候補者名簿の件 ⑤定時評議員会に提出する役員等報酬基準規程の件 ⑥定時評議員会の招集の件 ⑦定款細則の改正の件 ⑧借入金一本化に係る融資申し込みの件 ⑨就業規則の改正の件	ホテルオークラ ハウステンボス

(3) 監事監査

回	日時	出席者	内容	場所
1	H29.5.30 16:00～	監事：2名 理事長	①平成28年度事業並びに平成28年度決算の監査	特養ふるさと 会議室

3. 社会福祉法人制度改革への対応

平成29年4月1日の改正社会福祉法の全面施行に伴い下記対応をとった。

- (1) 法人執行体制：6月24日開催の新評議員会による定時評議員会において、新理事及び新監事が選出され、改正法のもと新たな執行体制がスタートした。
- (2) 情報開示：現況報告書、財産目録、計算書類、役員名簿、役員報酬規程等について、6月末までに所轄庁（西海市）に提出の上、ホームページで公表した。
- (3) 社会福祉充実残額の計算：「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」において公開された計算シートに沿って算定した結果、社会福祉充実残額は無しであった。

4. 地域における公益的取り組みについて（法24条2項関係）

(1) ふるさとレスキュー事業

長崎県内の複数の社会福祉法人による社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」に参加し、生活困窮者に対する相談支援事業を実施。県経営協の西彼・西海ブロック幹事法人として、またコミュニティ・ソーシャル・ワーカー（以下、CSW）設置法人として、相談受付25件、うち自法人対応が11件（うち相談支援に至ったもの1件）、他法人への連携14件であった。特に長与・時津地区からの相談が多かった。

(2) 「介護教室」「出前講座」等の開催及び講師の派遣

○7月28日（金）11:00～12:00

川内地区安心安全講習会で、介護保険制度の申請からサービス利用までの流れについて説明会を実施 60名参加

○8月1日 13:30～15:00 西彼町教育センター

西海市施設連絡協議会主催

家族介護教室で在宅介護を行っている家族へ、介護保険制度やサービス内容等の説明と意見交換会 7名参加

○12月18日（月）11:00～12:00

西海市総合支援事業での横瀬西地区老人会「いきいき体操教室」へ参加して、介護保険制度・認知症予防対策等の説明を行う。25名参加

○2月19日（月）14:00～15:00

西海市総合支援事業での横瀬東地区老人会「いきいき体操教室」へ参加して、介護保険制度・認知症予防対策等の説明を行う。23名参加

5. 規程等の制定及び改定

- ① 就業規則の改定（法改正に伴う改定）
- ② 定款細則の改定
- ③ 公用車使用及び管理規程の制定

6. 防災・防犯対策

（1）防災対策

- ・ ふるさと非常災害対策計画（BCP）の策定
- ・ ハザードマップの作成（各事業所に掲示）
- ・ 地域連携防災協力会議の実施

（2）防犯対策

- ・ 各事業所に防犯カメラ・センサーライトを整備（一部西海市補助事業）
- ・ 法人全車両にドライブレコーダーを設置

7. 主な法人行事

行事名	日付	参加等	備考
平成28年度 家族会総会（下半期）	29.4.23	57家族	平成28年度事業報告及び決算、平成29年度事業計画及び予算、役員改選 他
第42回ふるさと夏祭り	29.7.29	604名	利用者125名、来賓・地域・職員関係108名、家族240名、ボランティア19名、他職員
平成29年度 家族会総会（上半期）	29.9.18	66家族	平成29年度上半期事業報告及び会計報告 他
ふるさと敬老式典並びに敬老演芸会	29.9.18	115名	来賓45名・家族会70名
平成29年度 地域連携防災協力会議	29.11.2	50名	講話：東消防署西彼出張所 行政・消防署・消防団・自治会関係者出席

8. 研修・教育

(1) 業務改善 (QC) 活動研修

講師：秋満直人氏 場所：特養研修室

月日	研修内容	参加者
8/10	管理職リーダー研修① 業務改善活動：サポートの基本	辻・松本・安藤・三岳・山崎・平野・鈴木・太田留・橋本・池田・谷上・日数谷・川口い・大石・浦崎優・北島哲・岩永・永田・永野
8/21	サブリーダー研修① 業務改善の基本Ⅰ	宮崎・佐々木・山田・山川・末石・長井・田島・樋口・久保田・西川・三岳・石崎・田原・森
9/29	サブリーダー研修② 業務改善の基本Ⅱ	宮崎・佐々木・山田・山川・末石・長井・田島・樋口・久保田・西川・三岳・石崎・田原・森
12/19	サブリーダー研修③ 進捗状況チェックと指導	宮崎・佐々木・山田・山川・末石・長井・田島・樋口・久保田・西川・三岳・石崎・田原・森
12/19	管理職リーダー研修② 業務改善活動を支える関わり方Ⅰ	辻・安藤・三岳・山崎・平野・鈴木・太田留・橋本・池田・谷上・日数谷・川口い・大石・浦崎優・北島哲・岩永・永田・永野
3/6	サブリーダー研修④ 問題発見の技術	宮崎・佐々木・山田・山川・末石・長井・田島・樋口・久保田・西川・三岳・石崎・田原・森・大久保
3/6	管理職リーダー研修③ 業務改善活動を支える関わり方Ⅱ	辻・安藤・三岳・山崎・平野・鈴木・太田留・橋本・池田・谷上・日数谷・大石・浦崎優・北島哲・岩永・永田・永野

(2) コーチング及びセルフマネジメント研修 講師：山本素子氏 場所：特養内

月日	研修内容	参加者
5/16	管理職リーダー研修 セルフマネジメント①	辻・平野・鈴木・太田留・橋本・北島哲・岩永・永田・永野・谷上・日数谷・山崎・池田・川口い・大石・浦崎優・野田・西川・松本・安藤・三岳・石崎・長井
5/16	リーダー研修 ストレングスファインダー	永野・谷上・日数谷・山崎・池田・川口い・大石・浦崎優・野田・西川・松本・安藤・三岳・石崎・長井
5/24 30 31	リーダー研修 ストレングスファインダー 個別コーチング① 各自 50分	永野・谷上・日数谷・山崎・池田・川口い・大石・浦崎優・野田・西川・松本・安藤・三岳・石崎・長井
6/20 21 29	リーダー研修 ストレングスファインダー 個別コーチング② 各自 50分	永野・谷上・日数谷・山崎・池田・川口い・大石・浦崎優・野田・西川・松本・安藤・三岳・石崎・長井
7/20 21	管理職研修 ストレングスファインダー 個別コーチング 各自 50分	辻・平野・鈴木・太田留・橋本・北島哲・岩永・永田
7/20	接遇コミュニケーション研修	全職員対象 (月例研修会にて)

8/29	管理職リーダー合同研修 セルフマネジメント②	辻・平野・鈴木・太田留・橋本・北島哲・ 岩永・永田・永野・谷上・日数谷・山崎・ 池田・川口い・大石・浦崎優・野田・西川・ 松本・安藤・三岳・石崎・長井
8/29	管理職リーダー合同研修 ストレングスファインダー①	辻・平野・鈴木・太田留・橋本・北島哲・ 岩永・永田・永野・谷上・日数谷・山崎・ 池田・川口い・大石・浦崎優・野田・西川・ 松本・安藤・三岳・石崎・長井
10/11	管理職リーダー合同研修 セルフマネジメント③	辻・鈴木・太田留・橋本・北島哲・岩永・ 永田・永野・谷上・日数谷・山崎・池田・ 川口い・大石・浦崎優・野田・西川・安藤・ 三岳・石崎・長井
10/11	管理職リーダー合同研修 ストレングスファインダー②	辻・鈴木・太田留・橋本・北島哲・岩永・ 永田・永野・谷上・日数谷・山崎・池田・ 川口い・大石・浦崎優・野田・西川・安藤・ 三岳・石崎・長井

(3) 幹部研修

講師：秋満直人氏 場所：大正屋会議室

月日	研修内容	参加者
10/6 ~7	幹部研修 高齢者福祉を取り巻く環境情勢 組織論と内部統制の基本 今後の法人経営を考える	理事長・井元・永野・永田・北島哲

(4) 施設外研修

月日	研修内容	場所	参加者
5/19	平成 29 年度西海市地域ケア 会議全体会	西彼保健福祉 センター	永野修・岩永和浩
5/25	平成 29 年度西海市福祉施設 連絡協議会総会時研修	西海総合福祉 センター	理事長・平野和泉・太田弥宏・ 松本京子・永田住江
6/6	県経営協第 1 回総会時研修 生き残りをかけた社会福祉補 人の戦略とは	県総合福祉セ ンター	理事長・井元恵保美・永野修・ 永田住江・北島哲子
6/7	紹介職員フォローアップ研修 会（前期）	県総合福祉セ ンター	松本憲和
6/7	平成 29 年度県老協第 1 回総 会・研修会	A N A グラバ ーヒルホテル	理事長
6/13	県老協職員研修会	県総合福祉セ ンター	田原千枝子
6/15	認知症ケア研修会	県総合福祉セ ンター	岩倉佳輔・末長美咲・田崎美沙・ 川本真弥・川上望美
6/20	長崎県医療介護人材開発講座	長崎医師会館	理事長
6/24	防火・防災安全講習会	佐世保市消防 局	松本憲和・松本流星・太田弥宏・ 中島志郎

6/30	長崎県医療介護人材支援説明会	ホテルニュー長崎	理事長
7/7	主任ケアマネ研修	西彼保健センター	北島哲子
7/13 ~14	九州老施協職員研究大会	熊本市	永野修・松本憲和・三岳真吾・森田俊亮・森康介
7/14	新しい視点からの硬縮・褥瘡予防研修会	県総合福祉センター	田添貞子 宮崎妙子
7/15	高齢者の車いすシーティング研修会	県総合福祉センター	池田誠
7/15	専門研修課程Ⅱ・主任研修事前研修	大村市中央公民館	永野修
7/17	業者支援セミナー職員の働きがい・定着促進他	佐世保中央公民館	理事長・永田住江
7/22	綿九介護保険研究会	大正屋	藤原千香子・長井真樹子
7/25	全国経営協前期セミナー	ザ・ホテル長崎	理事長・井元恵保美・望月直美
7/31	主任ケアマネ研修	川棚町	北島哲子
8/1	認知症の人とのコミュニケーション研修会	県総合福祉センター	石川志津・中村美咲・平松有紗
8/8	平成29年度給食施設研修会	長崎西彼保健所	大久保菊美
8/17	西海市施設協 福祉施設業務改善活動(QC活動)研修	西海総合福祉センター	宮崎妙子・佐々木絵里佳・山田みどり・山川夏樹・末石順二・長井真樹子・田島尚美・樋口卓也・久保田恵・西川すや子・三岳真吾・田中衛・石崎翼・松本憲和・田原千枝子・森康介
8/23	事業者支援セミナー：人事考課	長崎市	永田住江
8/23	目的別に展開するアクティビティレク研修会	県総合福祉センター	川口直美 宮崎妙子
8/24・25	防火管理者講習会	佐世保消防署	森康介
8/30	平成29年度介護サービス事業者集団指導	佐世保体育文化館	理事長・永野修・永田住江・岩永和浩・太田勝代・藤原千香子
8/30 ~9/1	ユニットリーダー研修 講義	長崎ブリックホール	山崎香純・川口いづみ
9/6	改正育児・介護休業法等説明会	アルカスSASEBO	望月直美
9/13	人権啓発・雇用関係制度説明会	県総合福祉センター	永田住江
9/13 ~15	全国社会福祉法人経営者大会	三重県四日市市	理事長・北島哲子
9/28・29	ユニットリーダー研修 実地研修	長崎プレジールの丘	川口いづみ
9/28・29	認知症実践者研修	長崎タクシー会館	田中衛
10/1	主任ケアマネ更新研修	長崎市	北島哲子

10/3・4	喀痰吸引指導者伝達講習	ながさき看護センター	宮崎妙子・伊藤健太
10/16	喀痰吸引等研修	長崎県農協会館	丹田和伸・樋口卓也
10/16	西海市施設協 福祉施設業務改善活動(QC活動)研修	西海総合福祉センター	宮崎妙子・佐々木絵里佳・山田みどり・山川夏樹・末石順二・長井真樹子・田島尚美・久保田恵・西川すや子・三岳真吾・田中衛・田原千枝子・森康介
10/17	喀痰吸引等研修	長崎県農協会館	丹田和伸・樋口卓也
10/19	社会福祉施設における労働災害防止等説明会	長崎合同庁舎	辻川鈴子・望月直美
10/21・22	実習指導者講習会	長崎国際大学	平野律子・岩永和浩
10/24	ケアマネ更新研修Ⅱ	佐世保労働福祉センター	永野修
10/30～11/3	ユニットリーダー研修 実地研修	長崎プレジールの丘	山崎香純
11/7	平成29年度第2回地域ケア会議全大会	西彼保健福祉センター	理事長・永野修・北島哲子・岩永和浩
11/11・12	実習指導者講習会	長崎国際大学	平野律子・岩永和浩
11/15	西海市施設連絡協研修会 防災対策について	西彼保健福祉センター	理事長・池田誠・岩永和浩・浦崎優・森康介・谷上拓弥・大石方也・石崎翼・三岳真吾
11/24	在宅療養児・者等従事者研修会	長崎西彼保健所	永野修
11/27・28	喀痰吸引等研修	長崎県農協会館	丹田和伸・樋口卓也
12/1	長崎県老協協第1回職員研究発表会	ホテルニュー長崎	理事長・岩永和浩・谷上拓弥・浦崎優・田島尚美・宮崎妙子・稲塚愛莉
12/12・13	喀痰吸引等研修	長崎県農協会館	丹田和伸・樋口卓也
H30 1/12	老協協施設長研修会	長崎市	理事長
1/19	(株)テクノ・スズタ 福祉研修・展示会	アリーナかぶとがに	池田誠
2/2	長崎地域リハビリテーション広域センター西海市ブロック研修会	西彼保健センター	岩永和浩・太田勝代・久保田恵・辻川鈴子・田添貞子・山口奈津子・太田泰子・西川すや子・石崎翼・坂本聡子・伊藤健太
2/9	ケアマネジメント標準化手法に関する研修会	県総合福祉センター	永野修
2/15	九社連老協協施設長研修会	ホテルニュー長崎	理事長
2/20・21	第4回介護&看護EXPO大阪介護コース	大阪市	永野修

2/20	人材確保のための雇用管理改善推進事業説明会	県総合福祉センター	理事長
2/24	平成29年度西彼地域在宅医療・介護連携強化研修会	西彼保健福祉センター	理事長
2/27	認定調査員「現任」研修会	アルカスSASEBO	永野修
3/3	H29年度長崎県介護支援専門員第10回研究大会	諫早文化会館	永野修・北島哲子
3/7	喀痰吸引研修（最終テスト）	ながさき看護センター	丹田和伸・樋口卓也
3/9	2018年福祉大臣決算セミナー	応研福岡支店	石本勝紀
3/14	平成29年度老施協第2回総会・研修会	ANAクラウンプラザ	理事長・永野修・永田住江・北島哲子・藤原千香子・岩永和浩・太田勝代

(5) 施設内研修

場所：特養内

月日	研修内容	講師	参加者
4/18	ちょうじゅ記録術研修	富士データシステム:佐藤氏	岩永和浩・平野律子・谷上拓弥・浦崎優・山崎香純・池田誠・橋本綾子・山口留美・藤原千香子・辻純子・松本憲和・野田光浩・三岳真吾・宮崎妙子・太田賢太郎・志田眞一・北島哲子・森康介
5/24	リスクマネジメント研修	国広企画:濱田氏	月例研修にて
6/28	災害対策計画（BCP）研修	同：濱田氏	月例研修にて
6/14	電気使用量削減研修	日本テクノ:江口氏	特養管理職・ユニットリーダー・事務所
7/20	接遇コミュニケーション研修	山本素子氏	月例研修にて
7/24	法人看護職研修：老人福祉施設を取り巻く環境の変化と対応	理事長	橋本綾子・久保田恵・橋口藤枝・田添貞子・宮崎妙子・辻川鈴子・川口直美・伊藤健太・太田泰子・永田住江
9/20	法人新任職員研修	理事長ほか	中道由美・山口奈津子・太田マツエ・永田あや・田川志津子・坂本聡子
9/15	職員の生きがい・定着促進のための目標面接の考え方・進め方研修①	佐藤信吾先生（社会保険労務士）	井元恵保美・永野修・永田住江・平野律子・太田留美・辻純子・安藤富代美・橋本綾子・鈴木美春
9/28	職員の生きがい・定着促進のための目標面接の考え方・進め方研修②	佐藤信吾先生（社会保険労務士）	井元恵保美・永野修・永田住江・平野律子・太田留美・辻純子・安藤富代美・橋本綾子・鈴木美春・北島哲子

10/5	法人ブログ開設説明会	S K I コーポ レーション	広報委員会
11/11	法人業務研修「認知症とは」	永野修管理者	グループホーム（西川・石崎・吉田喜・川上・川本・吉田実・石川・岩下・川本・辻）
12/27	法人業務研修「認知症とは」	永野修管理者	第2グループホーム（岩下・三岳・野田・川口・福浦・中尾・坂本珠・坂本聡・中道・勝田・伊藤・馬場・田川）
H30 1/18	入職3年職員業務研修	理事長	山川望美・川上玲奈・松本京子・稲塚愛莉・松添愛理奈・平松有紗・末長美咲
2/21	入職5年職員業務研修	理事長	田崎美沙・松本流星・岩倉佳輔・中村美咲・伊藤健太・森田俊亮・大久保菊美
3/5	認知症対応研修	永野修管理者	特養①（佐々木・山口・稲塚・田崎・山田・宮本・辻尾・田島・平松・田添）
3/7	認知症対応研修	永野修管理者	特養②（谷上・土手口・山崎・山川・田川・末石・山崎・池田・岩倉・橋本・太田・大久保）
3/12	認知症対応研修	永野修管理者	特養③（末長・松本・鈴木・浦崎優・太田・松添・廣瀬・久保田・宮崎・長井）
3/15	認知症対応研修	永野修管理者	特養④（丹田・寄能・中村・大石・松本・樋口・森田・橋口・川口・岩永・太田・永田住・永田あ）

(6) 月例研修

実施月	参加人数	研修内容
4月	72	29年度上半期永年勤続表彰、29年度事業計画について、社会福祉法の改正について、介護処遇改善について、就業規則改正について、ケアの質の向上について
5月	72	リスクマネジメントについて（外部講師：国広企画濱田氏）
6月	82	災害対策計画（BCP）研修（外部講師：国広企画濱田氏） 法人執行体制についての説明
7月	77	接遇コミュニケーション研修（外部講師：山本素子氏）
8月	75	社会福祉法人の社会的役割について、コンプライアンスについて（服務規律等組織ルール規範の遵守）、介護保険サービスについて、食中毒予防について
9月	68	長崎県災害福祉広域支援ネットワークについて、誤嚥性肺炎予防について、復命研修
10月	74	下半期永年勤続表彰、法人業務改善活動（QC活動）の発表会、緊急対応研修
11月	70	人事考課の仕組みと適正な運用について、法人QC活動の方針と継続について、高齢者虐待及び身体拘束防止について

12月	75	30年の介護報酬改正の行方について、感染症対策（インフルエンザ予防）、復命研修
1月	84	職員の就業規則違反について、職業倫理に関するワークショップ研修、感染症対策
2月	74	29年度の振り返りと30年介護報酬改正への対応について、感染症対策の徹底について、復命研修
3月	78	防災教育、30年度事業計画と重点方針について、感染症対策について、事故防止対策について、不審者対応マニュアルについて、就業規則について

(7) 資格取得支援

研修名（支援資格）	受講回数	受講者
初任者研修（介護福祉士）	15	奇能莉那
実務者研修（介護福祉士）	14	末長美咲・松添愛里奈
ケアマネ受講対策講座（介護支援専門員）	4	末石順二

● 資格取得者 介護福祉士 3名

9. 助成・補助事業等

○ 平成29年度西海市地域介護・福祉空間整備等補助事業

① 事業名：特別養護老人ホームふるさと「防犯対策強化事業」

事業計画

- ・整備内容／防犯カメラ・センサーライト設置契約
- ・事業費／523,600円
- ・補助金／261,000円
- ・完了日／H30.1.18
- ・納入業者／東芝エルイーソリューション（株）

② 事業名：グループホームふるさと「防犯対策強化事業」

事業計画

- ・整備内容／防犯カメラ・センサーライト設置契約
- ・事業費／464,400円
- ・補助金／232,000円
- ・完了日／H30.1.17
- ・納入業者／東芝エルイーソリューション（株）

③ 事業名：第2グループホームふるさと「防犯対策強化事業」

事業計画

- ・整備内容／防犯カメラ・センサーライト設置契約

- ・事業費／307,800円
- ・補助金／153,000円
- ・完了日／H30.1.16
- ・納入業者／東芝エルイーソリューション（株）

※注 サポートセンターについては整備費が補助事業対象額の30万円に満たなかったため事業申請を取り下げたが、同様の防犯対策は全額自己負担にて実施した。

10. 職員異動

	増				減				病休		産休 育休	
	採用		異動		退職		異動		病休	復帰	病休	復帰
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤				
特養	3	4	1	0	5	0	2	0	1	1	2	1
グループ ホーム	1	再1	1	0	3	0	1	0	1	0	0	0
第2グループ ホーム	3	0	1	0	2	1	1	0	3	1	0	0
サポート センター	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	1
計	8	5	3	0	11	3	4	0	6	2	3	2
介護職	1	3	2		7	2	3					
看護職	1		1				1					
ケアマネ	2				1							
事務・調理	4	2			3	1						

11. 付属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

以上

平成29年度事業報告

「特別養護老人ホームふるさと・短期入所生活介護」

1. 事業概況

平成29年度の入所者状況は、在籍率は99.4%と昨年度とほぼ横ばいであった。年平均介護度は3.9と昨年度より0.1重くなっている。入院数は一日平均2.8人で、昨年より約1人増加しており、年平均入所者数は66.6人。年々重度化しており、医療依存度が高い利用者が増えてきている状況である。

退所者は29人で昨年より6人増加。内、長期入院のための退所が12人、死亡退所が17人、内医療機関での死亡が4人、施設での看取りケアを11人実施している。退所者が1ヶ月に6人と多い月もあり、年々、在所期間が短くなる傾向に伴い、入所者の確保にも影響を及ぼしている。

短期入所利用状況については、一日平均7.9人。昨年より0.1人減少するが、2月～3月には稼働率が増加し、特養の空所利用を5人で計14日利用、年間の稼働率は79%で昨年より0.6%減少した。

感染対策として、今年度はインフルエンザの流行が早く1ヶ月前倒しで1月～4月まで面会制限を実施し、徹底した感染対応策で利用者の感染を防止できた。

職員研修は、昨年と引き続き、管理者・リーダー・サブリーダーを中心に業務改善活動の推進を実施している。また、管理者・主任等のコーチング研修等で、より組織力・機動力をアップしたチームケアを目指した。加えて、本年度は介護の重点課題として、年間を通してご家族、ご利用者の要望に応えるべく、「不適切ケア」の一掃のための基礎的研修を強化し、サービスの質の確保に努めた。

キャリアパスとして、アセッサー制度によるレベル認定の促進や介護支援専門員・介護福祉士・喀痰吸引等の様々な資格取得支援を継続している。

防災対策として、総合的に防災対策を進めている。

地域貢献事業として、「生計困難者レスキュー事業」の西彼・西海ブロック幹事法人として生活相談員が当法人居宅支援事業所管理者と協働し、相談・支援対応している。

2. 特別養護老人ホームふるさと利用状況

(1) 延入所者数状況 (満床数 25,550 人)

延入所者数は 25,384 人で稼働率は 99.4% うち、延入院者数は 1,109 人で一日 2.8 人、延実利用者数は 24,321 人で平均入所者数 66.6 人

年月日	延入所者数 (在籍者)	延入院者数	延実利用者数 (在籍者－入院者)
平成 29 年 4 月	2,097	79	2,108
平成 29 年 5 月	2,165	45	2,120
平成 29 年 6 月	2,087	72	2,105
平成 29 年 7 月	2,151	119	2,032
平成 29 年 8 月	2,159	51	2,108
平成 29 年 9 月	2,085	94	1,991
平成 29 年 10 月	2,166	114	2,022
平成 29 年 11 月	2,086	112	1,974
平成 29 年 12 月	2,155	82	2,073
平成 30 年 1 月	2,167	48	2,115
平成 30 年 2 月	1,947	132	1,815
平成 30 年 3 月	2,119	81	2,038
合 計	25,384	1,029	24,321
29 年度	稼働率 99.4%	一日平均 2.8 人	平均入所者数 66.6 人

(小数点第 2 位四捨五入)

(2) 月別入退所者数の状況

年間入所者数 29 人 退所者数 29 人の内、死亡退所が 17 人、(施設での死亡 13 人で看取りケア実施が 11 人、医療機関での死亡 4 人) 長期入院のための退所が 12 人

年月日	一日現在 入所者数	月内の異動		平均介護度
		入所	退所	
平成 29 年 4 月	70	1	1	3.9
平成 29 年 5 月	70	1	1	3.9
平成 29 年 6 月	70	5	6	3.9
平成 29 年 7 月	69	3	3	3.9
平成 29 年 8 月	69	2	2	3.9
平成 29 年 9 月	69	2	1	3.9
平成 29 年 10 月	70	1	1	4.0
平成 29 年 11 月	70	3	4	4.0
平成 29 年 12 月	69	3	2	3.9
平成 30 年 1 月	70	1	1	3.9
平成 30 年 2 月	70	2	4	3.9
平成 30 年 3 月	68	5	3	3.9
合計		29	29	平均 3.9

(3) 入所申し込みについて

29 年度末での入所待機者数 17 人

内、介護保険施設等に入所中 4 人 医療機関入院中 8 人

在宅生活 5 人

3. 短期入所生活介護利用状況

延利用者数

介護度別	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計	稼働率 %
	1	2	1	2	3	4	5		
29年 4月	7	0	16	16	16	124	0	199	66.3
29年 5月	7	0	24	36	36	96	18	219	70.6
29年 6月	0	0	19	22	22	125	8	216	72.0
29年 7月	0	12	16	17	17	106	0	236	76.1
29年 8月	4	6	22	30	30	83	0	212	68.4
29年 9月	4	0	23	50	50	82	0	235	78.3
29年 10月	2	0	21	66	66	64	6	248	80.0
29年 11月	5	0	22	85	85	42	0	235	78.3
29年 12月	2	19	37	102	102	24	0	275	88.7
30年 1月	2	28	14	91	91	34	0	260	83.9
30年 2月	5	8	9	110	110	38	0	257	91.8
30年 3月	7	0	24	96	96	98	0	293	94.5
合 計	45	73	247	721	721	916	32	2885	79.0
29年度	延利用者数		2,885	一日平均利用者数		7.9人	稼働率		79.0%

(小数点第2位四捨五入)

※ 29年度延利用者数状況（満床数 3,650人）

年間延べ利用者数は2,885人で、一日平均7.9人で年稼働率は79%となり、
入所の空所利用は14日（5人）

4. 会議・委員会開催状況

- | | |
|------------------|-----|
| (1) 主任会議等 | 16回 |
| (2) フロア・ユニット会議 | 88回 |
| (3) 入所検討委員会 | 12回 |
| (4) 事故防止・事故事例検討会 | 22回 |
| (5) 衛生委員会 | 12回 |
| (6) 法人苦情解決委員会 | 1回 |
| (7) 感染対策委員会 | 15回 |

(8) 身体拘束廃止委員会	15 回
(9) 広報委員会 (法人合同)	3 回
ふるさと便り	165 号～168 号 (三事業所合同)
	4 回発行
(10) ケアカンファレンス	16 回
モニタリング	45 回
(11) 栄養ケアカンファレンス	13 回
(12) 褥瘡防止委員会	8 回
(13) 給食委員会	19 回
(14) 医療委員会	6 回
(15) レクレーション委員会	3 回
(16) 排泄向上委員会	12 回
(17) 防災委員会 (法人防火管理者)	3 回
(18) 法人ケアマネ連絡会議	6 回
(19) 法人事業所連絡会議	12 回

5. 研修会参加状況

(1) 施設外研修

西海市 県社協、県老施協 施設研修等の各研修会に 96 回参加した。

(延 162 人)

(2) 職場内研修

職場内におけるスキルアップ研修・復命会実施

介護技術、褥瘡防止、身体拘束廃止、虐待防止、事故防止、感染症対策、ケアの向上、クレーム対応 認知症、医療、衛生教育等について、毎月 1 回の月例研修、及び随時の業務研修 30 回実施した。

※毎月の法人事業所連絡会議とケアマネ連絡会議等で役職者へ事業所の円滑な運営のための各研修を実施。

※前年度より全法人での継続研修として、外部講師による管理者・リーダー・サブリーダーを中心に業務改善活動研修と、管理者・主任のコーチング研修を実施し組織力強化について取り組んだ。

※新任職員研修会を 4 回実施。(入職 3 年未満対象)

全法人で講義と演習にて基礎概論及び目標設定を行った。

入職 1 年未満には、介護技術「新任職員研修マニュアル」に添って OJT 研修、プリセプター制度により個別指導育成を行った。

(3) 資格取得

介護福祉士 2 人 介護支援専門員 1 人

介護プロフェッショナルキャリア段位制度レベル 2 - ②認定者 1 人

認定特定行為業務従事者 3 人 喀痰吸引指導者 2 人

介護福祉士実習指導者 2 人 ユニットリーダー 2 人

6. 福利厚生・労務管理

(1) 健康診断

雇入れ時、5月に全職員、10月夜勤職員を対象に実施。

診断結果について、生活習慣病の傾向が強く、産業医の所見を基に衛生管理者による全職員に細やかな個別面談と衛生教育を実施した。治療が必要な職員の継続指導を実施している。

(2) ストレスチェック制度

労働安全衛生法第 66 条規程に基づき、産業医の管理指導のもと、全職員のメンタル面の不調者を未然に防止を目的とした、心理的な負担の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を実施した。結果については個人面談等行い、職場環境の診断と改善についての課題を検討した。

7. 感染症予防対策

昨年に引き続き長崎西彼保健所より、最新の感染発症動向調査を情報収集し、嘱託医指導管理の下、感染対策委員会開催や研修会等での周知、予防対策、労務管理に努めた。

(1) 健康診断・美化衛生

8月31日に長崎健康事業団による全利用者の結核健康診断を実施。毎月の業者による害虫駆除と及び職員による清掃チェックを実施した。

(2) インフルエンザ予防対策

11月利用者及び職員のインフルエンザ予防接種実施。

感染対策として、10月よりマスク着用と1月11日～4月1日面会者の全面制限を実施。職員にはタミフル予防投薬を実施し、勤務に支障なく施設への感染持ち込みを防止できた。

8. 防災対策

(1) 防災訓練

※避難訓練（夜間時想定訓練も含む）12回 消火訓練4回 通報訓練11回 防災教育15回 夜間出動訓練2回

※総合訓練2回(11月15日 3月12日)佐世保東消防署西彼出張所立会い指導のもと、避難訓練を実施した。11月はスモークマシンを使用して、実際の火災に近い状況下での訓練を実施。

※9月11日 消防設備点検立入検査

佐世保東消防署西彼出張所立会いでの点検

※11月2日 法人ふるさと地域連携防災協力会議

佐世保東消防署西彼出張所、行政、消防団、地域 法人役員参加し協力連携を図る。

※12月15日「171 非常伝言ダイヤル」を利用して、非常伝言操作訓練を実施。

※災害対策計画策定し、ハザードマップでの避難先、地域連携の周知など具体的な対応策を講じた。

6月28日外部講師を招いて災害の基礎知識の習得と非常災害対策計画の理解を深めた。

(2) 防犯対策

施設門扉に防犯カメラ1台及び施設周囲にセンサーライト2台を追加設置した。

※防犯対策研修 不審者対策マニュアルの周知と留意点について実施。

9. 長崎県指導監査

3月2日 老人福祉施設等指導監査実施。

運営面で概ね良好との評価。

口頭指摘事項として、非常口の障害物の撤去、リネン倉庫の収納方法、賞与引当金の事務処理について指導を受けたので、早急に改善した。

10. 地域貢献

レスキュー事業

西彼・西海ブロックの幹事法人として生活相談員・当法人居宅支援事

業所管理者と連携し生計困難者レスキュー事業を継続実施。

問い合わせ・相談受付 25 件で昨年より 4 件増加。内 14 件を他法人へ連絡照会し、1 件を支援対応実施した。

1 1. 行事

(1) 6 月 22 日ゲーム大会 (四事業所利用者、家族会、職員参加)

(2) 7 月 30 日ふるさと夏祭り //

(3) 9 月 18 日ふるさと敬老会 //

(4) 9 月 利用者ご家族アンケート実施

(4) 4 月 20 日 西海市長及び西海市議会議員一般選挙不在者投票

10 月 19 日 衆議院議員総選挙不在者投票

1 月 31 日 長崎県知事選挙不在者投票

(5) 誕生会 利用者家族会役員、地域関係者招待し毎月実施

(6) 法話 町内 5ヶ寺、佐世保市 1ヶ寺に依頼し、11 回実施

(7) レクレーション

毎月 10 日に季節のメニューに応じた食事会 (お楽しみ献立) や、各フロアでの調理レク (おやつ作り) リハビリを兼ねての野菜作り、園芸、各フロアでの誕生会やドライブ等を実施。

1 2. 実習生受け入れ 地域との交流等

5 月 18 日 長崎県立西彼農業高校進路説明会へ、卒業生として寄能莉那 (介護職) 参加し在校生のアドバイスを行う。

6 月 29 日 福祉体験学習訪問 西海中学校 1 年生 18 人受け入れ

7 月 4 日～5 日 職場体験学習 西海中学校 2 年生 2 人受け入れ

1 月 29 日 「福祉のしごと基礎講座」西海東小学校 5・6 年生対象に長崎県社協と理事長他職員で学校へ出向き、講義と演習で介護の普及活動を実施。

長崎県喀痰吸引研修 実地研修 特養介護職 3 人実施

1 3. ボランティア・慰問・訪問等受け入れ

個人ボランティア 夏祭り 職員家族他 27 人

企業ボランティア 2 回 三菱労働組合長船支部 15 人

舞踊・演奏等訪問 4 回 西海市文化協会出前講座

(ダンス愛好会 ハーモニ西海 西海ジュニア合唱団) 52 人
カリビアンブリーズ

1 4. 施設見学及び入所相談

(1) 入所相談 29 件

(2) 施設見学 30 件

1 5. 面会者数

年間 3,695 人 一日平均 10.1 人

平成29年度事業報告「居宅介護支援センターふるさと」

1. 事業概況

2025年に向けて行政が取り組む地域包括ケアシステムの推進にあわせ、居宅介護支援事業所として、住み慣れた地域で暮らす要支援・要介護者に対して、在宅サービスのプランを作成し、サービスの展開を実施した。

また、社会福祉法人の地域貢献事業として、福祉事業や介護保険制度等への疑問や、超高齢化社会に伴う「認知症患者の増加」での対応について、「介護教室」の開催や、地域の老人会が主体として実施されている、「いきいき体操」等へも出向き、介護予防の重要性や地域の問題点等の意見を聞く機会へも取り組みを実施した。さらに、今年度も生計困難者レスキュー事業へ取り組みを特養相談員と一緒に実施した。

また、法人役員として各事業所の「不適切ケア」一掃を目的として、「認知症の理解と対応」について、スキルアップ研修・指導を行った。

2. 利用状況

月 別	介護予防利用者	介護支援利用者	計
H29・4月	2人	26人	28人
5月	3人	27人	30人
6月	3人	27人	30人
7月	3人	27人	30人
8月	3人	27人	30人
9月	3人	28人	31人
10月	2人	28人	30人
11月	2人	29人	31人
12月	2人	29人	31人
H30・1月	2人	27人	30人
2月	2人	28人	30人
3月	2人	28人	30人
合 計	29人	331人	360人

※ 月平均 介護 $331 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 27.6 \text{ 人}$
 予防 $29 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 2.4 \text{ 人}$
 計 $360 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 30 \text{ 人}$

※ 居宅介護支援利用者については、在宅での支援が困難になった場合に、利用者の状況を検討して法人施設への紹介を行っているため、利用者の変動がある。

3. 活動状況

(1) 介護認定訪問調査（長崎市役所委託分）

月別	人数	月別	人数
H29. 4月	2人	10月	2人
5月	2人	11月	4人
6月	2人	12月	2人
7月	3人	H30. 1月	0人
8月	2人	2月	0人
9月	1人	3月	0人
合計		20人	

※ 20人÷12ヶ月＝1.7人（月平均）

※ 長崎市より介護保険認定に係る訪問調査を、在宅・西海市内病院・施設等を訪問し実施する。

(2) 「介護教室」の開催

○7月28日（金）11:00～12:00

川内地区安心安全講習会で、介護保険制度の申請からサービス利用までの流れについて説明会を実施 60名参加

○8月1日 13:30～15:00 西彼町教育センター 西海市施設連絡協議会主催

家族介護教室で在宅介護を行っている家族へ、介護保険制度やサービス内容等の説明と意見交換会 7名参加

(3) 「出前講座」小規模多機能ホームと一緒に

○12月18日（月）11:00～12:00

西海市総合支援事業での横瀬西地区老人会「いきいき体操教室」へ参加して、介護保険制度・認知症予防対策等の説明を行う。25名参加

○2月19日（月）14:00～15:00

西海市総合支援事業での横瀬東地区老人会「いきいき体操教室」へ参加して、介護保険制度・認知症予防対策等の説明を行う。23名参加

(4) 地域ケア会議

○4月28日・9月14日・2月6日 19:00～21:00 西海圏域ケア会議

○5月19日（金）19:00～21:00 平成29年度西海市全体ケア会議

○6月18日（金）19:00～21:00 西彼圏域ケア会議

○11月7日（火）19:00～21:00 平成29年度第2回西海市全体ケア会議

※ 圏域内事例を通して専門職で意見交換・情報交換を行う。

(5) 施設外研修会について

介護支援専門員の質の向上を目的として、県内外への研修へ参加 16回

(6) 法人事業所内研修（認知症の理解）

グループホームふるさと 12月11日（月） 18:30～20:00

第2グループホームふるさと 12月27日（水） 18:30～20:00

特養ふるさと 3月5日・3月7日・3月12日・3月15日 16:30～18:00

(6) 法人介護支援専門員連絡会議

法人の各施設・居宅の介護支援専門員での情報交換・介護支援専門員としてのスキルアップを目的として、毎月会議を実施し利用者のより良い生活・地域住民の生活について、研修会を実施している。又、長崎県・西海市の介護支援専門員協議会へ入会し、各研修会等への参加も実施している。

平成29年度事業報告「グループホームふるさと」

1. 事業概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かしたレクリエーションや生活リハビリ、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

平成29年度は、医療度や介護度が上昇したご利用者の、状態に応じた生活の為に暮らし替えにかかる連携、新規入所者受入れにかかる連携をスムーズに進める事ができ、入院者も年間を通して昨年よりも半数以上少なく、高い実稼働率を維持する事ができた。

グループホーム内で最優先に改善させるべき課題『不適切ケアをなくす』をテーマに掲げ、問題解決型QC活動として取り組みを行っており、介護の質向上や、安全管理対策の強化を目指している。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を、併設施設である小規模多機能ホームふるさとと合同で開催した。避難訓練や事業所行事（もみじ祭り）にも合わせて開催することで、ご出席頂いた運営推進会議委員である利用者様ご家族・行政・地域・福祉関係者と、介護保険制度や活動状況、地域との交流活動など、更に幅広い意見交換ができた。

2. 利用状況

項目	今年度	前年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,570名	6,570名	—	
年間延べ利用者数	6,498名	6,493名	100.08%	↑
延べ入院・外泊日数	99日	246日	40.24%	↓
年間延べ実利用者数	6,399名	6,247名	102.43%	↑
実稼働率	97.4%	95.1%	102.42%	↑
延べ未契約日数	72日	77日	93.51%	↓

3. 入退所状況

	種 別	人 数	備 考
H29年4月	退 所	1名	特養転所のため
	入 所	2名	在宅より 病院より
H29年6月	退 所	1名	特養転所のため
	入 所	1名	在宅より
H29年11月	退 所	1名	特養転所のため
	入 所	1名	在宅より
H29年12月	退 所	2名	特養転所のため 長期入院のため
	入 所	1名	在宅より
H30年1月	入 所	1名	在宅より
H30年2月	退 所	1名	特養転所のため
	入 所	1名	在宅より
H29年3月	退 所	1名	特養転所のため
	入 所	1名	在宅より

○ 入所者総数：8名

○ 退所者総数：7名

4. 入所者状況（平成30年3月31日現在）

入居人数	18名（男性／2名 女性／16名）		
要介護区分（平均介護度：1.7）			
要支援2（0名）	要介護1（11名）	要介護2（3名）	
要介護3（3名）	要介護4（1名）	要介護5（0名）	
年 齢	平均 85.4歳（最低／72歳）（最高／95歳）		

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委員	利用者家族	2名	地域包括支援センター職員	1名
	地域住民の代表	2名	西海市職員	1名
	西海市社協	1名		
施設	理事長・管理者・統括管理者・小規模多機能ホーム管理者 小規模多機能ホームケアマネ			6人

○実施状況

回	月日	場 所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月18日	小規模多機能ホーム	10名	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価結果報告 運営状況報告 ほか
第2回	7月16日	小規模多機能ホーム	21名	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練概要説明 合同避難訓練実施 意見交換 ほか
第3回	9月21日	小規模多機能ホーム	11名	<ul style="list-style-type: none"> ご家族アンケート内容の検討 運営状況報告 ほか
第4回	11月12日	小規模多機能ホーム	8名	<ul style="list-style-type: none"> 合同秋祭り参加 アンケート実施
第5回	1月22日	グループホーム ふるさと	12名	<ul style="list-style-type: none"> ご家族アンケート結果報告 合同秋祭り実施報告 運営状況報告 ほか
第6回	3月16日	第2グループホーム ふるさと	14名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度目標達成計画の振り返り 運営状況報告 ほか

6. 主な活動状況

年間を通した活動・行事			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3B体操（毎月2回） ・ 法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ ふるさと書道クラブ／地域住民へ会場開放（毎月2回） ・ 習字教室（毎月1回） ・ 防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・ 外出支援（自宅、買い物、美容室 等） 			
主な月別行事（上記月例行事を除く）			
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピクニック（横瀬浦公園） ・ お花見会 ・ 4月生まれお誕生会 ・ 輪投げ大会 ・ 個別外出（地元へ） 	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪浦ウィーク散策 ・ 母の日茶話会 ・ こどもの日茶話会 ・ ドライブ（買い物）
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム大会練習 ・ 法人ゲーム大会(特養) ・ 七夕飾り作り ・ 個別外出（美容院へ） 	7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太田和老人会訪問 ・ 七夕 ・ ふるさと夏祭り参加 ・ スイカ割り大会
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ こざくら学園夏祭り参加 ・ お盆参り（特養） ・ 8月生まれお誕生会 ・ ドライブ（お寺参り） 	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと敬老会リハーサル ・ ふるさと敬老演芸会参加
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観月会 ・ 赤い羽根共同募金 ・ 小旅行（西海橋など） ・ サポートセンターと合同レク ・ コスモス祭り見物 	11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH・SC 合同秋祭り参加 ・ 第2GH秋祭り参加 ・ 西海市図書館まつり参加 ・ お好み焼き会 ・ 西海市出前講座訪問 ・ 11月生まれ誕生会 ・ 芋掘り体験（西海橋公園）
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月生まれお誕生会&クリスマス忘年会 ・ 餅つき ・ フラダンス訪問（SC） ・ 門松作り 	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初詣 ・ 新年祝賀会 ・ 鬼火焚き ・ 書初め ・ 鏡開き（ぜんざい）

2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節分豆まき会（恵方巻き） ・ バレンタインデー ・ 風船バレー大会 ・ 輪投げ大会 ・ 牡丹餅作り 	3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひな祭り茶話会 ・ ドライブ（横瀬公園） ・ ホットケーキ作り ・ カラオケ大会
--------	---	--------	---

7. 会議・研修会開催状況

(1)	職員全体会議	12回
(2)	ユニット会議（ひなげし棟）	5回
(3)	ユニット会議（すずらん棟）	5回
(4)	合同ユニット会議	2回
(5)	広報委員会	4回
(6)	介護・医療勉強会	12回
(7)	防災訓練	12回

8. 研修参加状況

【外部研修】

・ 西海市施設連絡協議会（業務改善活動）研修	4名
・ 認知症ケア研修会	2名
・ 紹介職員フォローアップ研修会	1名
・ 認知症の人とのコミュニケーション研修会	1名
・ 九州老人福祉施設職員研修会	1名
・ 地域福祉部会研修会～災害に備えて～	1名
<u>施設外研修会参加総数 6回 延べ10名（昨年度延べ参加者25名）</u>	

9. 外部評価。

・平成29年度は外部評価を受ける年でなく受審なし。

※ 事業所として一定の要件を満たしており、外部評価の実施回数を2年に1回とする同意を西海市から得ている。

平成29年度事業報告「第2グループホームふるさと」

1. 事業概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かした生活支援や、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

通年で退所4件、入所4件の異動があった。入退所件数は昨年度より4件減であったが、退所からの新規入所までの期間は平均22日と前年度の12.4日と比べ大きく変化があった。入院日数は前年度の251日と比べ今年度259日と微増となった。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を年6回開催した。活動状況、外部評価報告、防災関係などの意見交換以外でも、地域消防団との避難訓練、秋まつりへの参加など幅広く委員との交流を行った。

地域との交流においては、地域行事へ積極的に参加し、前年から引き続き、瀬川保育園との交流など地域と関わる活動ができた。

職員の状況については、今年度より新しく調理員として職員を採用している。厨房業務を専門で行う事により介護職員の介護業務に専念できる環境を整える事ができた。

2. 利用状況

項目	29年度	28年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,570名	6,570名	—	—
年間延べ利用者数	6,503名	6,470名	100.5%	↑
延べ入院・外泊日数	259日	251日	103.2%	↑
年間延べ実利用者数	6,244名	6,219名	100.4%	↑
実稼働率	95.0%	94.7%	100.3%	↑
延べ未契約日数	67日	100日	67%	↓

3. 入退所状況

月日	種別	人数	備 考
5月	退所	1名	法人内事業所へ
6月	入所	1名	病院より
7月	退所	2名	長期入院の為 法人内事業所へ
	入所	1名	病院より
8月	入所	1名	自宅より
	退所	1名	長期入院の為
9月	入所	1名	自宅より

○ 入所者総数：4名

○ 退所者総数：4名

4. 入所者状況（平成30年3月31日現在）

入居人数	18名（男性／3名 女性／15名）		
要介護区分（平均介護度：2.1）			
要支援2（0名）	要介護1（7名）	要介護2（5名）	
要介護3（4名）	要介護4（2名）	要介護5（0名）	
年 齢	平均 88.8歳（最低／76歳）（最高／98歳）		

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	1名	地域包括支援センター職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市職員	1名
	西海市社協職員	1名		
施 設	理事長・センター長・管理者			4人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月22日	第2グループホームふるさと	12名	・外部評価結果報告 ・運営状況報告
第2回	7月23日	第2グループホームふるさと	13名	・地元消防団との合同避難訓練及び意見交換
第3回	9月22日	第2グループホームふるさと	9名	・家族アンケート内容検討 ・事例報告 ・運営状況報告
第4回	11月23日	第2グループホームふるさと	8名	・秋まつりへの参加
第5回	1月19日	第2グループホームふるさと	9名	・家族アンケート結果報告 ・秋まつり実施報告 ・運営状況報告
第6回	3月16日	第2グループホームふるさと (合同)	14名	・29年度目標達成計画振り返り ・運営状況報告

6. 主な活動状況

年間を通した活動・行事			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3B体操（毎月2回） ・ 法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ ふるさとドライブ（随時） ・ 防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・ 誕生会 			
主な月別行事			
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ お花見ドライブ ・ お花見ランチ ・ ぼた餅作り ・ パンケーキ作り 	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母の日茶話会 ・ こどもの日茶話会 ・ 雪の浦ウィーク ・ ちまき作り

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム大会 (特養にて) ・ 父の日茶話会 ・ 梅干作り ・ 饅頭作り 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀬川保育園との交流 (七夕) ・ ふるさと夏祭り ・ 氷柱ソーメン会食 ・ 梅干作り ・ 消防団との合同避難訓練
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ こざくら学園夏祭り ・ 横瀬浦公園ドライブ ・ おはぎ作り ・ お墓参り ・ パフェパーティ 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと敬老演芸会 (特養にて) ・ プレ敬老会 (特養にて) ・ 西海橋ドライブ
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ コスモス祭り (七釜鍾乳洞) ・ お月見 ・ 瀬川保育園運動会見学 ・ 赤い羽根共同募金 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋まつり ・ もみじ祭り (サポートセンター) ・ 西海ジュニア合唱団訪問 (特養にて) ・ ハーモニー西海訪問 (特養にて) ・ 百合の会訪問 (特養にて)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ もちつき ・ ケーキ作り ・ クリスマス忘年会誕生会 ・ スチールパン演奏会 (特養にて) 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年祝賀会 ・ 獅子舞訪問 ・ 鬼火焚き ・ かがみ開き
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内ゲーム大会 ・ 節分豆まき ・ バレンタインデー ・ 漬物作り ・ ぼた餅作り 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひなまつり茶話会 ・ ホワイトデー茶話会

7. 会議・研修会開催状況

(1) 職員全体会議	12回
(2) ユニット会議	7回
(3) 管理者・リーダー会議	2回
(4) 広報委員会	4回
(5) 介護・医療勉強会・復命会	2回
(6) 防災訓練	12回

8. 研修参加状況

【外部研修】

・福祉施設職員に対する防火・防災安全講習会	1名
・平成29年度九州老人福祉施設職員研究大会	1名
・福祉施設業務改善活動（QC活動）研修会	2名
・西海市福祉施設業務改善活動（QC活動）研修発表会	5名
・平成29年度西海市施設協「災害にそなえて」研修会	1名
・平成29年度西海市福祉施設連絡協議会総会及び研修会	2名
・第2回長崎県認知症介護実践者研修	1名
・第2回長崎県認知症介護実践者研修実習報告会	1名
・喀痰・吸引指導者講習伝達講習	1名
・長崎地域リハビリテーション広域センター 西海市ブロック研修会	2名

法人外研修会 10回 参加総数 延べ17名（28年度延べ参加者 16名）

9. 外部評価。

・平成29年度は外部評価を受ける年ではなく受審なし。

※ 事業所として一定の要件を満たしており、外部評価の実施回数を2年に1回とする同意を西海市から得ている。

平成 29 年度事業報告「ふるさとシニアライフサポートセンター」

1. 事業概況

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活できるように、日常生活上のサービスを必要に応じて受けることができる「サービス付きマンション」と、在宅での生活を包括的に支える「小規模多機能ホーム」を併設した機能を、法人内の事業所をはじめ医療機関や他業所との円滑な連携により、切れ目のないサービスを提供する事ができた。

利用状況は小規模多機能型居宅介護が新規契約者 6 名、終了者が 7 名。サービス付きマンションが新規契約者 6 名、終了者 8 名。稼働率平均は、小規模多機能型居宅介護 83%（※登録定員 29 名だが人員配置により受入定員に変更あり。平均 20.2 名）、サービス付きマンション 93%（居室 19 部屋、平均 18 室）となった。

平成 30 年 3 月 31 日現在でサービス付きマンションは空室 2 室あるが、問い合わせ等あり、早期の満床を目指したい。

小規模多機能型居宅介護事業者に義務付けられている「運営推進会議」は 6 回実施し、活動状況、事例紹介、防災関係の意見交換を行った。

年に 1 回、事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を行う「サービス評価」を昨年同様行い、西海市に受理された。

平成 29 年度は「第 5 回もみじ祭り」をグループホームと共同開催したり、地域へ出向いての「出前講座」を開催した。毎年の恒例行事や新たな取り組みを通して、ご家族や地域との理解を深めることができた。

2. 利用状況

【小規模多機能型居宅介護】

	今年度	前年度
契約者（延べ）	48 人	41 人
契約終了者	7 名	10 人

【サービス付き付きシニアマンション】

	今年度	前年度
契約者（延べ）	47 人	41 人
契約終了者	8 人	19 人

3. 利用者状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

【小規模多機能型居宅介護】

利用者数	20 名	（男性／3 名	女性／17）
要介護区分	（平均介護度：1.2）		
要支援 1（3 名）	要支援 2（1 名）	要介護 1（10 名）	

要介護 2 (5名)	要介護 3 (1名)
年 齢	平均 89.2 歳 (最低/81 歳) (最高/104 歳)
【サービス付きシニアマンション】	
入居者数	18 名 (男性/2 名 女性/16)
要介護区分	(平均介護度 : 1.3)
要支援 1 (2名)	要介護 1 (10名) 要介護 2 (5名) 要介護 3 (1名)
年 齢	平均 88.9 歳 (最低/81 歳) (最高/104 歳)

4. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて 6 回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	1 名	地域包括支援センター職員	1 名
	地域住民の代表	2 名	西海市職員	1 名
	西海市社協	1 名		
事業所	・理事長 ・サポートセンター長 ・グループホーム管理者 ・小規模多機能ホーム管理者 ・介護支援専門員			5 名

○実施状況

回	月日	場所	参加数	主な協議テーマ
第 1 回	5 月 18 日	ふるさとシニアライフ サポートセンター	10 名	・各事業所概要について ・外部評価結果報告 ・運営状況報告 ほか
第 2 回	7 月 16 日	グループホーム ふるさと	19 名	・避難訓練概要説明、実施 ・意見交換
第 3 回	9 月 21 日	ふるさとシニアライフ サポートセンター	11 名	・家族アンケート内容検討 ・事例報告 ・運営状況報告 ほか
第 4 回	11 月 19 日	ふるさとシニアライフ サポートセンター	8 名	・もみじ祭り

第5回	平成30年 1月22日	グループホーム ふるさと	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者ご家族アンケート結果報告 ・「もみじ祭り」実施報告 ・運営状況報告 ・小規模多機能ホームふるさとサービス評価について
第6回	2月23日	ふるさとシニアライフ サポートセンター	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度小規模多機能ホームふるさと「サービス評価」について ・意見交換ほか

5. 主な活動状況

年間を通した活動・行事			
<ul style="list-style-type: none"> ・法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ふるさとドライブ（随時） ・防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・買い物支援（個人支援） ・脳トレーニング（毎月1回） ・誕生会（誕生者当日に実施） ・特養誕生会参加（随時） ・利用者懇談会（毎月1回） 			
主な月別行事（上記月例行事を除く）			
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・おはな祭り（フキ寿司作り） ・花見ドライブ（西海橋/伊佐の浦公園/横瀬公園/大島） ・四本堂公園/バイオパークドライブ 	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ（大島 西海） ・外海町、黒崎地区ピクニック
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・夕陽丘外海（昼食バイキング） ・西彼町デザートドライブ（いちごの森） ・西海市文化祭 ・法人ゲーム大会 ・大島、崎戸ドライブ ・伊佐の浦ドライブ ・ミニパフェ作り 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・船番所ランチ ・太田和老人会訪問 ・法人夏祭り

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・すいか割り ・かき氷パーティー ・クレープ作り ・こざくら学園夏祭り参加 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・笑いヨガ ・クッキー作り ・敬老会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・お月見 ・オランダ村ドライブ ・コスモス祭り参加 ・大島図書館祭り参加 ・赤い羽根共同募金 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・干し柿作り ・西海文化協会出前講座（ハーモニー西海/西海ジュニア合唱団） ・舞踊訪問 ・もみじ祭り ・第2GH秋祭り
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防出前講座（横瀬西老人クラブへ） ・カリビアンブリース演奏会参加 ・餅つき ・クリスマスリース作り ・舞踊訪問 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年祝賀会 ・鬼火焼き ・鏡開き（ぜんざい） ・どら焼き作り
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・節分豆まき ・雛段飾り ・中華バイキング ・介護予防出前講座（横瀬東老人クラブへ） 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り茶話会 ・ぜんざい茶話会

6. 会議・委員会開催状況

①職員全体会議	(12回)
②給食委員会	(2回)
③広報委員会	(4回)
④介護・医療勉強会・復命会	(10回)
⑤防災訓練	(12回)
⑥事業所連絡会議	(12回)
⑦ケアマネ会議	(6回)
⑧地域包括ケア会議	(3回)

7. 研修参加状況

(1) 施設外研修

西海市、長崎県老人福祉施設協議会、長崎県介護支援専門員協議会等の各研修会に12回（延べ16名）参加。

(2) 職場内研修

・ケアプラン研修	6月
・介護記録について	6月
・レクリエーションについて	6月

- ・防災について 6月
- ・入院者の対応について 7月
- ・認知症ケアについて 8月
- ・サービス評価について① 10月
- ・サービス評価について② 11月
- ・緊急時の対応について 3月

※その他新任職員研修や施設外研修に参加しての復命研修を実施。

8.平成 29 年度サービス評価

小規模多機能型居宅介護事業所においては、従来の外部評価機関による外部評価の代わりに、年に 1 回、各事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、その評価結果について、地域の有識者の皆さんが構成員である運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を行う事が義務付けられた。

・サービス評価結果

平成 30 年 3 月 7 日西海市長寿介護課受理にて確定。

小規模多機能ホームふるさとのホームページにて閲覧可
(<http://furusato-saikai.jp/syokibo.html>)

以上

平成29年度事業報告「ふるさとレスキュー事業」

1. 事業概況

長崎県内の複数の社会福祉法人による社会貢献事業「生計困難者レスキュー事業」に参加し、生活困窮者に対する相談支援事業を実施した。

○レスキュー基金への拠出金：100,000円×2回＝200,000円

※ 当該年度の拠出金のうち2回目は、相談件数増に伴うレスキュー基金の補充のため県経営協から翌年度の前倒し拠出金依頼があったため

① 県経営協役員としての活動

県経営協レスキュー事業担当役員として、各種研修会に講師として参加した。以下参加研修会等。（ ）内は主催者

29.7.17 「地域における総合相談・生活支援研修会」（県社協）

29.7.19 「行政・社協へのレスキュー事業説明会」（県経営協）

29.9.5 「佐世保市地域包括支援センター社会福祉士連絡会」（同会）

29.9.28 「レスキュー事業県北ブロック連絡会議」（県経営協）

29.10.18 「レスキュー事業 CSW 初級養成研修会」（県経営協・県社協）

29.11.16 「レスキュー事業対馬ブロック連絡会議」（県経営協）

29.12.4 「県地域包括・在宅介護支援センター協議会」（同会）

29.12.12 「ソーシャルワーク実践力強化研修（佐世保市）」（県社協・県経営協）

29.12.21 「ソーシャルワーク実践力強化研修（長崎市）」（県社協・県経営協）

② 西彼・西海ブロックにおける活動

幹事法人として、行政や社協からの相談受付25件、うち14件を同ブロックまたは長崎ブロックの参加法人につなぎ対応した

③ CSW 設置法人としての活動

11件の相談を受け付け、うち1件について関係機関と連携して直接対応した。

（現物給付額は11,056円）その他の10件については相談元機関にて再検討または助言支援を行った

④ 県経営協「レスキュー事業」実績（H29.4～H30.3）

～県内複数法人による公益的取り組みとして

○ 参加法人数：89法人

○ レスキュー基金総額：6,430,000円

○ 支援実績（現物給付額）：5,875,222円（1件当たり平均支援額：33,164円）

○ 支援状況

・年間相談受付数…206件

2. 相談支援状況

(1) 直接対応した案件 11件

受付	相談者	事案タイトル	相談概要	対応及び支援内容 〔支援額〕
1/24	西海市社協	生活保護受給までの食料支援	61歳男性。一人暮らし。以前は日当の仕事で生計を立てていたが、右足や右手首も骨折。自宅では這って移動している。ケガの為に仕事はできず、収入はなし。手持金もなく、生活保護申請し受給までの食料支援をレスキューで依頼される。ライフラインの滞納もあり確認し、電気代をレスキューで支援。	食料支援と電気代の支払い 1/25～2/14 終結 生活保護開始にて 〔11,056〕
5/15	真珠園療養所 SW	生活保護受給までの食料支援。	精神疾患から仕事ができず、医療機関へ入院。退院となったが、収入がない為に生活保護申請予定。受給までの食料をレスキューで依頼。家族、本人と面談を行うが、これまで家族へ依存し自立心がない為に家族との関わりを減らし、今後自立してほしいとの要望の為、レスキューでの対応は困難と判断。	事案検討し対象外と判断
5/18	西海市社協	年金受給までの食料支援	年金生活（17万/2ヶ月）で夫婦二人暮らし。子ども、兄弟の身寄りなく。現在の手持ち金がわずか。63歳男性はうつ病で58歳女性は糖尿病あり。5/18保護申請を済ませたが、受給までの食料支援を依頼される。フードバンクでの食料支援も受け、1～2週間程の食料はあるが、夫婦共に疾患があり、インスタント食品が主の為に健康面での不安もあり。その後現金が1万円程見つかかり、早急のレスキューは見送る。	関係機関へ検討内容を助言

5/18	西海市社協	失業中の49歳男性。食料支援	失業中で手持ち金なし。レスキューで食料支援の相談あり。市内に両親や兄弟がおり、これまで食料の支援等は行ってもらっていた。その後仕事が決まるが、車通勤の為、燃料代を支援できないかと相談。両親や兄弟からのへ支援の検討について助言した。	関係機関へ検討内容を助言
6/14	長与町社協	生活保護受給までの食料支援。	生活保護申請中で、手持ち金が1,250円。社協での貸し付けについても以前1度貸付を行い、返金がない為に難しい。家族構成や公共料金、食料等の確認を社協で願います。6/15社協担当者より本人との面談が出来ず、レスキューは見送りとなる。	関係機関へ検討内容を助言
9/29	長与町社協	離婚協議中の妻の引越費用がレスキュー対象かとの連絡	妊娠36週の40歳女性。夫はいるが薬物容疑にて取り調べ中。離婚を検討中であるが、現在は同居中。夫、妻合わせて400万の借金があり。家は夫の母の名義で妊娠中の嫁が家を出るように言われている。引越し費用をレスキューでの依頼。食料や家もあることで、現状では対応困難で県社協と協議してほしいことも伝える。	関係機関へ検討内容を助言
11/1	長与町社協	子どもの出産に関わる費用の相談	27歳女性。現在産休中にて収入なし。子どもが本日生まれ、子どもの誕生に関わる準備品をレスキューで対応できないかと相談。対象者は兄妹や両親もおり、夫は年収200万あり。対象者は600万の借金あり。レスキューの介入は難しいと判断	事案検討し対象外と判断

11/16	真珠園療養所	入院時の生活用品の費用について	警察署に保護され、医療機関へ入院中。手持金は19円。市福祉課へ連絡し生活保護申請を行った。保護受給までの入院中の生活費用についての相談あるが、病院の方で準備して立替えを依頼し了承される。	関係機関へ検討内容を助言
11/28	長与町福祉課	光熱費の支払いについて	30代の夫婦と子ども4人世帯。来月5人目出生予定。夫に内緒でカードローンを借り、光熱費と家賃の支払いができていない。夫に知られずに光熱費分だけでもレスキューでお願いしたいとのこと。レスキュー事業の目的説明し、仕事ができずに収入がなく、食料がないなどの場合はレスキューとして関わることもあると説明。本人へ説明をお願いし、その後関係機関で対応。	関係機関へ検討内容を助言
12/19	西海市社協	通勤に必要なガソリン代の支援	44歳の女性。仕事に就いているが、給料は少なく、手持金が3500円。食料についてはフードバンクに依頼し食料は確保できている。車通勤であるが、ガソリン代がなく、レスキューで支援できないかと相談。現在の現金で通勤のガソリン代に充ててもらおうよう説明。	関係機関へ検討内容を助言
3/14	長与町社協	退院後の食料支援の相談	65歳男性。インフルエンザを発症し、肺炎を併発され医療機関へ入院中。週末に退院予定であるが、退院後の食料がない為、レスキューでの支援を依頼される。3/15社協担当より連絡あり、自宅に食料があり、ライフラインも通っており、レスキュー対象外。	事案検討し対象外と判断

(2) 幹事法人として他法人に紹介した案件 14 件

受付	相談者	事案タイトル	紹介先
5/6	長与町社協	夫婦、子どもと3人暮らし。仕事を始めたが、通勤の為に燃料代がない。ライフラインと食料の確認。	のぞみ会
7/11	時津町社協	母子家庭の一人暮らし。母親は仕事を病気の為に退職。生活保護の申請を済ませ、保護受給までの食料支援。	のぞみ会
7/14	長与町社協	夫婦と子ども世帯。生活保護受給までの食料支援。	のぞみ会 →対応困難にて長崎ブロックにて対応。 マリア園へ連絡
7/14	長与町社協	年金生活の一人暮らしの女性。生活保護受給までの食料支援	のぞみ会
7/28	長与町社協	生活保護申請を拒否した男性一人暮らし。仕事を解雇され、収入なし。公共料金の支払いについて	のぞみ会
9/27	長与町社協	生活保護受給までの食料支援	のぞみ会
10/27	長与町社協	自宅で引きこもりの25歳女性。引越し費用としてレスキューの相談。	のぞみ会
12/6	長与町社協	60歳代夫婦の年金支給日までの食料支援	のぞみ会
12/6	長与町社協	60歳代夫婦の年金支給日までの食料支援	のぞみ会
12/10	マリア園担当者	給料日までの食料支援	のぞみ会
1/18	長与町社協	生活保護受給までの食料支援	のぞみ会
2/28	時津町社協	生活保護受給までの食料支援	のぞみ会
3/22	長与町社協	年金支給までのライフラインの滞納の支援	山の木（特養）
3/27	時津町社協	生活保護受給までの食料支援	せいひ会